



R6.11.1

令和6年度 朝日中学校 学校だより

だのっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



思い出に残る合唱祭に～合唱祭～

25日（金）午後、合唱祭が開催されました。平日にも関わらず、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、大変ありがとうございました。



「この合唱祭が皆さんの思い出に残るものになれば嬉しいです。」合唱祭のパンフレットに記載された実行委員長の凜さんの言葉ですが、今年の合唱祭は皆さんの心に残るものになることができたでしょうか。

10月4日の合唱祭集会から本格的に始まった合唱祭の取組でしたが、「何を歌うか」や、クラス、紅白各組の役割分担、指揮、伴奏者の決定はそれよりずっと前から準備していただきました。特に指揮と伴奏を引き受けていただいた生徒の皆さんは、昼休みにやまびこホールで練習する姿を何度も見かけました。執行部の皆さんも遅くまで開閉祭式の内容検討、動画撮影などで遅くまで準備してくれていました。合唱祭の成功や、クラス、仲間のために力を注いでいただき、本当にありがとうございました。

合唱祭に限らず、何かに取り組むときに大切なのは、「何のために取り組むのか」という「ねらい」を常に意識することだと思っています。「何のために取り組むのか」を明確にし、全員で共有することで、取り組みに対するモチベーションが高まったり、一体感を持って取り組めたり。そして「ねらい」がクリアできたかどうかをみんなが同じ基準で振り返ることで成長を確認するとともに、全体としての達成感や充実感、次への意欲につなげることができると思っています。

今回の合唱祭のねらいは、合唱祭集会で確認したように以下の3つでしたが、皆さんは「達成できた」と感じていますか？



- ①全校縦割りの合唱コンクール、各学年の発表会としての合唱発表を通して、よりよい合唱づくりをする。
- ②合唱づくりを通して、朝日中生の合唱レベル、発信力・表現力を向上させる。
- ③体育祭の成果を合唱祭に活かしながら、全校一丸となって取り組み、合唱祭を成功させ、その成果をこれからの学校生活に活かす。

「成果をこれからの学校生活に活かす」ためにはどんな成果が得られたのかを確認する必要があります。君たちにとっての成果はなんだったのでしょうか。

開祭式でも申し上げましたが、秋山としてはこの合唱祭の取り組みを通して君たちに感じてほしいと思っていたことが2つありました。

一つ目は、集団で一つの目標をクリアするために必要なことに気付いてほしい。

二つ目は、一生懸命取り組むと、自分の得意不得意に関わらず、好き嫌いに関わらず、「やってよかった」「楽しかった」と感じることができる、ということを実感してほしい。



各学年の発表も、紅白どちらの組の合唱も、お世辞抜きでとても素晴らしい合唱でした（結果的に賞はついたけれど、それは出来栄えの優劣ではありません）。あの素晴らしい合唱を創り上げるため、君自身は何に、どんな姿勢で取り組み、何を頑張ったのか、を考えてほしい。周りの人は、どんなことを頑張っていたか、を思い出してほしい。それが「集団で一つの目標をクリアするために必要なこと」だったんです。君たちは、今後何度となく集団で一つの目標をクリアしなければならない場面に出会います。その時、この経験はきっと活

かされると思います。

もう一つの方ですが、秋山は、これまで一生懸命取り組むことで自分自身が少し成長できた気がするんです。できなかったことでも一生懸命取り組むことで、少しできるようになったり、嫌いなことでも、とりあえず一生懸命取り組んでみると、今まで気づかなかった「よさ」に気づくことができたり。なんか自分の視野が広がったような気がして。だから君たちにも…、と思っていました。



皆さんの演奏の迫力や美しさ、真剣に取り組む表情、友達を思いやる姿に感動させていただきました。

今年も心に残る合唱祭をありがとうございました。



